
第Ⅱ部

地球温暖化対策

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る 国民運動



「デコ活」は、暮らしを快適にしながら環境にも配慮する行動のことです。宇治市は、脱炭素につながる新しい国民運動「デコ活」を推進しています。

第Ⅱ部 地球温暖化対策

第1章 宇治市域の温室効果ガス排出量

1 概要

宇治市では、「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市民・事業者・市が協働して地球温暖化対策の取組を進めてきました。

環境保全計画の下位計画として位置付けられていた地球温暖化対策地域推進計画は、持続可能な脱炭素社会の実現に向け、総合的な環境施策に取り組むことが必要になるため、2024（令和6）年3月策定の「宇治市第3次環境保全計画」に統合しました。新計画の中では、2030（令和12）年度に2013（平成25）年度比で温室効果ガスの46%削減を目標として掲げており、2050（令和32）年ゼロカーボンの実現に向けて、より一層の取組が必要となっています。

2 排出量の状況

宇治市域の温室効果ガスの排出量は、宇治市内のすべての市民・事業者から排出される温室効果ガスを、電力やガスのエネルギー使用量などから算定します。そして、算定した温室効果ガスの総排出量を削減するための取組や、削減目標を設定し、その実施状況を公表することとしています。

「宇治市第3次環境保全計画」において定めた削減目標は次のとおりです。

(1) 削減目標

- ・2030（令和12）年度に2013（平成25）年度比で46%以上削減を目指す。
- ・2050（令和32）年度までにゼロカーボンシティの実現を目指す。

(2) 温室効果ガスの総排出量

2022（令和4）年度の宇治市域の温室効果ガスの排出量は85.9万t-CO₂となり、2013（平成25）年度比で25.5%減、前年度と比べると7.8%増となりました。

表 2-1-1 温室効果ガス総排出量

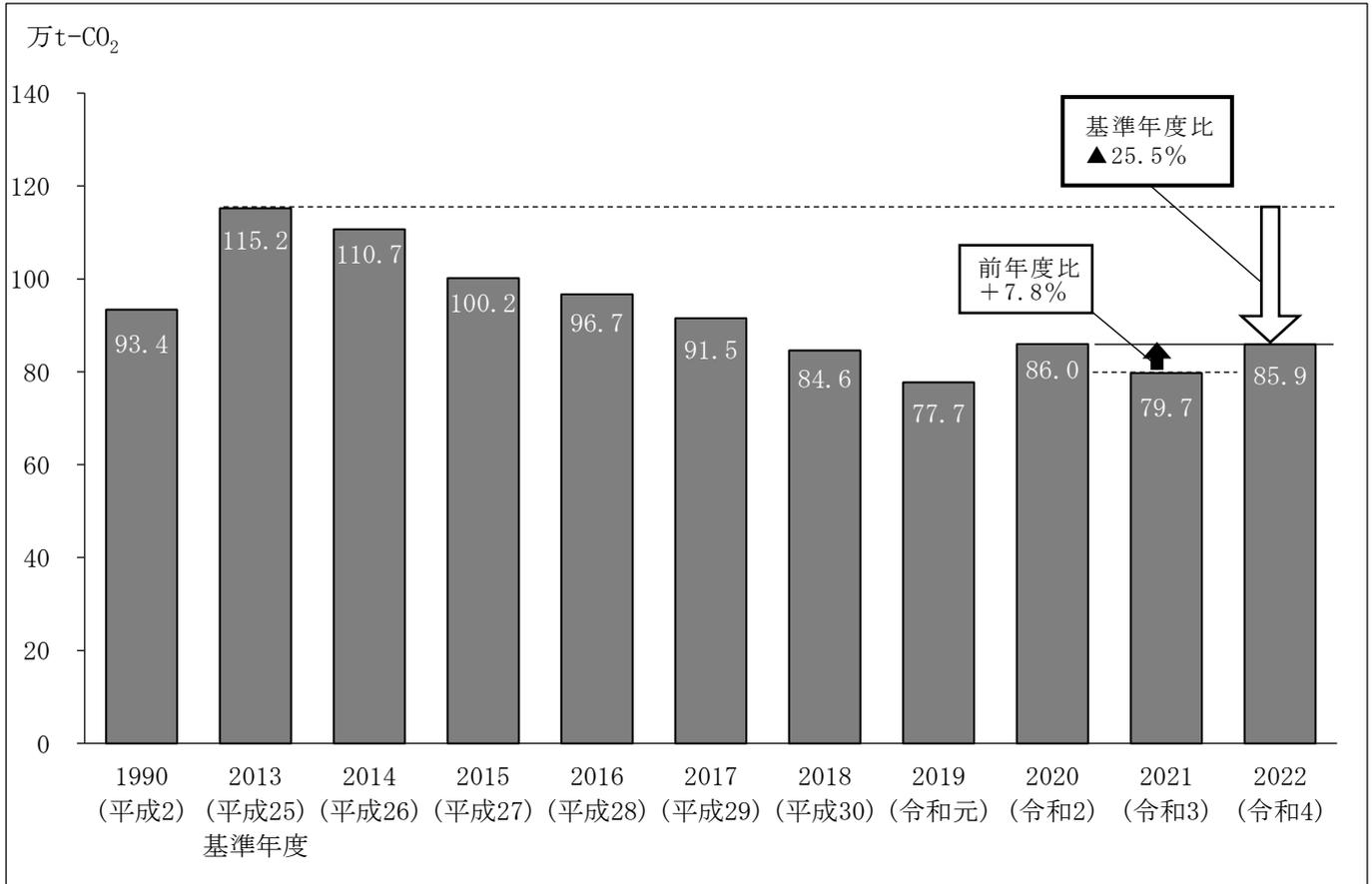
	2013（平成25）年度	2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	
	【基準年度】	【前年度】 〈基準年度比〉	排出量 〈基準年度比〉	前年度比
総排出量	115.2万 t-CO ₂	79.7万 t-CO ₂ 〈▲30.8%〉	85.9万 t-CO ₂ 〈▲25.5%〉	+7.8%

（参考）宇治市第2次地球温暖化対策推進計画

計画において2023（令和5）年度までに1990（平成2）年度比で25%以上削減という目標を定めています。

計画9年目にあたる2022（令和4）年度の宇治市域の温室効果ガス排出量は、85.9万t-CO₂となり、基準年度である1990（平成2）年度比で14.6%減となりました。

図 2-1-2 宇治市域の温室効果ガス排出状況



(3) 部門別目標の達成状況

部門別排出状況については、産業部門が基準年度である 2013 (平成 25) 年度比で 29.8%減少、運輸部門は 19.3%減少、民生業務部門は 28.8%減少、民生家庭部門は 22.2%減少、廃棄物部門は 6.8%増加となりました。基準年度に対し、最も大きな削減率となっているのは産業部門で、次いで民生業務部門でした。

表 2-2-3 令和 4 年度の部門別排出状況

単位: (万 t-CO₂)

部門	1990 (平成2) 年度	2013 (平成25) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2030 (令和12) 年度 排出目標	前年度比	2013 (平成25) 年度比
産業	47.1	41.1	29.9	28.9	23.6	▲3.1%	▲29.8%
運輸	19.9	21.9	17.2	17.7	8.7	+2.8%	▲19.3%
民生業務	10.6	22.9	13.1	16.3	11.0	+24.9%	▲28.8%
民生家庭	14.7	28.4	18.7	22.1	13.9	+18.2%	▲22.2%
廃棄物	1.0	0.8	0.9	0.9	0.9	+1.6%	+6.8%
総排出量	93.4	115.2	79.7	85.9	57.8	+7.8%	▲25.5%

注 1) 温室効果ガス排出量の算定に用いる一部の統計数値には、公表に3年以上要するものがあるため、暫定値として前年度の数値で算出しているものがあります。

注 2) 資料中の数値は、端数処理の関係で合計値等が整合しない場合があります。

(4) エネルギー消費量

2022（令和4）年度のエネルギー消費量は、前年度比で、産業部門は15.0%減少、民生家庭部門が6.7%減少し、運輸部門は3.1%増加、民生業務部門は1.2%増加しており、合計としては6.3%減少していますが、電気の二酸化炭素排出係数が増加したこともあり、2022（令和4）年度の温室効果ガス排出量は前年度比で7.8%増加しています。

表 2-2-4 2022（令和4）年度のエネルギー消費量（単位:TJ）

部門 年度	産業	運輸	民生業務	民生家庭	計
2021年度	4,252	2,633	1,773	2,592	11,250
2022年度	3,616	2,716	1,794	2,418	10,544
増減率	▲15.0%	+3.1%	+1.2%	▲6.7%	▲6.3%

○産業部門

基準年度比 ▲29.8% <前年度比 ▲3.1%>

前年度比では、電気の二酸化炭素排出係数が上昇したこと等により電気の排出量が増加したものの、各エネルギー消費量が減少したため、合計の排出量は減少しています。

○運輸部門

基準年度比 ▲19.3% <前年度比 +2.8%>

前年度比では、自動車のエネルギー消費量が増加したこと等により、合計の排出量は増加しています。

○民生業務部門

基準年度比 ▲28.8% <前年度比 +24.9%>

前年度比では、電気の消費量は減少。それ以外のエネルギー消費量は増加。電気の二酸化炭素排出係数が増加したこと等により、合計の排出量は増加しています。

○民生家庭部門

基準年度比 ▲22.2% <前年度比 +18.2%>

前年度比では、電気、ガス等の各エネルギー消費量は減少したものの、電気の二酸化炭素排出係数が増加したこと等により、合計の排出量は増加しています。

第2章 宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議

宇治市では、宇治市地球温暖化対策地域推進計画を市民、事業者、宇治市（行政）等の各主体の参加・協働により推進するため、平成21年3月8日に宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（愛称：eco ット宇治）を設立しました。

同会議では5つのグループと実行委員会を設置し、宇治市地球温暖化対策地域推進計画の具体的な取組について協議し、その企画・実施を行っています。

○個人会員数 33名 ○団体会員数 20団体

○グループ一覧 《令和6年4月1日現在》

- ・環境学習推進グループ ・みどりエコライフグループ ・森林保全グループ
- ・再生可能エネルギー推進グループ ・広報グループ

表 2-2-1 令和6年度の主な活動内容

グループ	日	活動名	内 容	参加者数		
全体	6/4~6	環境展	地球温暖化の仕組みや省エネルギーなどに関する啓発・家庭の省エネ相談所、旬当てゲーム	60		
	11/17	宇治環境フェスタ (各グループ)	「できたよ目標 やろうよゼロカーボン」のテーマで開催	500		
			【クイズでエコ】教室形式でエコについてクイズ 2回開催(温暖化・エネルギー・ごみ)	51		
			【旬当てゲーム・かえっこバザール】手作りのクイズ箱で旬の啓発及びおもちゃの交換会	155		
			【エコ川柳】エコ川柳の投稿促進	43		
11/30	2024キッズフェスタ in 植物公園出展	地球温暖化の仕組みや省エネルギーなどに関する啓発、旬当てゲーム、エコ川柳・広報紙の展示	120			
環境学習 推進	4/7	アクトパル宇治春祭り出展	旬当てゲーム、輪投げなどを使用した地球温暖化防止啓発	270		
	5/26	旬野菜の収穫体験	佐原ファームの畑で野菜収穫体験	12		
	7/27	夏休み★こどもわくわくフェア出展	かえっこバザール	61		
	10/20	環境ふれあいフェスタ出展	かえっこバザール	211		
	11/24	ともいきフェスティバル出展	かえっこバザール	111		
	3/8	エコットクッキング	災害時に対応したエコな調理実習	16		
みどり エコライフ	4/15	家庭の省エネ相談所	来場者にエコライフ診断書をもとに省エネ・再エネのアドバイス	14		
	5/15			13		
	6/26			14		
	7/16			11		
	8/19			11		
	9/17			10		
	10/15			10		
	11/28			18		
	12/17			7		
	1/15			10		
	2/18			9		
	3/18			11		
	4/23、27			みどりのカーテン講習会	①みどりのカーテンの作り方と省エネ効果 ②苗の植え付け実演と栽培のポイント	43
	4/27			みどりのカーテン育成パートナー	市役所のみどりのカーテン用ゴーヤ植付け作業	7
	7/27	夏休み★こどもわくわくフェア出展	緑のカーテン温度測定とソーラーカーの組み立て	28		
	9/7	みどりのカーテン育成パートナー	市役所のみどりのカーテン用ゴーヤ撤去作業	7		
2/15	宇治まなびんぐ出展	ソーラーカー工作教室	31			
3/13	省エネ出前講座	家の窓断熱について	60			

グループ	日	活動名	内 容	参加者数
森林保全	4/29	緑のウォークラリー出展	森林の役割の啓発、木工体験、丸太切り体験、緑の募金活動	96
	6/2	どんぐりプロジェクト	どんぐり苗木植樹予定圃場の整備	-
	7/22	どんぐりプロジェクト	森の草刈り	-
	8/3	親子木工体験会	ゴム動力で動くレーシングカー作り	50
	10/6	アクトバル秋まつり出展	どんぐり苗の配布	61
	10/22	宇治橋通笑顔わんさかフェスタ出展	森の役割の啓発、木工体験、丸太切り体験	38
	2/2	どんぐりプロジェクト	どんぐりの苗木の植樹	-
	3/2	どんぐりプロジェクト	どんぐりの苗木の植樹	1
再エネ 推進	4/29	緑のウォークラリー出展	微生物発電の展示	-
	7/27	夏休み子ども★わくわくフェア出展	マグネシウム電池を作ろう	15
	1/11	公開講座	DIY でできる太陽光発電	68
	3/2	フィールドワーク	クリーンパーク折居・環境ふれあいひろば見学	22
広報	4/1	広報紙発行	『すすめ！eco ット宇治』第 57 号 1,000 発行	-
	5/1	エコ企業訪問	en bridge(エンブリッジ)	-
	7/1	広報誌発行	『すすめ！eco ット宇治』第 58 号 1,000 発行	-
	7/26	エコ企業訪問	サハラファーム・うじ	-
	10/1	広報紙発行	『すすめ！eco ット宇治』第 59 号 1,000 発行	-
	10/30	エコ企業訪問	株式会社宵宮園	-
	1/1	広報紙発行	『すすめ！eco ット宇治』第 60 号 1,000 発行	-
eco ット カフェ	5/29	第1回 eco ットカフェ	市の補助金説明会	21
	6/22	第2回 eco ットカフェ	住まいの断熱と健康	7
	9/28	第3回 eco ットカフェ	太陽光を上手に使おう・断熱は最大の省エネ	18
	1/25	第4回 eco ットカフェ	ペレットストーブってどんな暖房器具	12
	2/8	第5回 eco ットカフェ	椎茸植菌体験と森のちょっといい話	20
子ども 学習(実)	10/10	西大久保小学校宇治学	4年生の宇治学で、環境学習を実施	27
	11/26	御蔵山小学校宇治学	4年生の宇治学で、環境学習を実施	96
	2/5	西大久保小学校家庭科出前授業	食品、ごみ、地球温暖化の学習会を実施	75

第3章 地球温暖化対策の啓発

1 宇治環境フェスタの開催

近年、地球温暖化等の環境問題についての関心は深まりつつありますが、実際の行動に結びつけることが難しいというのが現状です。

宇治市では、身近で楽しみながら実践できる環境に良い取組を、より効果的に普及・啓発していくことを目的に、平成20年度から宇治環境フェスタを開催しています。

表 2-3-1 令和6年度の開催内容

テーマ	～できたよ目標 やろうよゼロカーボン～
開催日	令和6年11月17日
会場	宇治市生涯学習センター
協力	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（愛称：eco ット宇治）他
概要	◆エコ・アクション・ポイントコーナー ◆おおきにトビケラさん展示 ◆環境にやさしい文房具の展示 ◆住まいの窓断熱体験 ◆がちかんゲーム体験会 ◆エコ川柳の展示・募集 ◆クイズでエコ ◆雑がみ分別クイズ ◆どんぐりプロジェクト ほか

2 環境展

気候変動や海洋プラスチックごみなど、環境問題は地球規模で深刻化しています。このような課題に対応するためには、市民一人ひとりが脱炭素型のライフスタイルに転換していくことが必要となります。これらの環境問題への関心や理解を深める機会となるよう、6月の「環境月間」に、地球温暖化の仕組みや省エネルギーに関する啓発パネルを展示し、家庭向け省エネ相談や旬当てゲームなどのイベントを実施しました。

第4章 エコアクション推進事業

宇治市では、令和4年度からエコアクション（環境にやさしい商品の購入、サービスの利用など）に特化した全国共通のポイントプログラムであるエコ・アクション・ポイントを活用しています。本事業では市民・事業者の環境に対する意識改革や行動変容を促進し、より一層の温室効果ガス排出削減につなげることを目的として、市民に向けたエコアクションメニューの設定及びポイントの付与を実施しています。

付与ポイント総数 …146,779Pt

市内登録者数 …2,152人（令和7年3月末時点）

表 2-4-1 令和6年度ポイント付与実績

エコアクションメニュー (ポイント付与項目)	ポイント数/1 回 Pt	ポイント総数 Pt
公共施設での拠点回収	5	81,105
啓発イベントへの参加	50	20,700
緑化活動への取組	50	1,600
家庭の省エネ相談所での相談	50	3,700
市の広報誌閲覧	1～3	3,139
省エネ製品の購入	1,000	1,000
家庭用LED製品の購入	100	2,500
地産地消の推進	50	1,150
クールスポットの利用	5	10,485
市民からのエコアクション提案	10	1,200
市民からのエコアクション提案(佳作)	300	7,200
市民からのエコアクション提案(入賞)	500	4,000
市民からのエコアクション提案(採用)	3,000	9,000
		146,779

第5章 家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費 補助事業・ゼロカーボン設備導入事業費補助事業

市内に住宅用太陽光発電設備及び蓄電設備を同時に設置した人を対象として、設置費用の一部を補助する2つの事業を実施しています。

また、上記の設備と同時に高効率給湯機器又はコージェネレーションシステムを設置した場合は、高効率給湯機器又はコージェネレーションシステムの設置費用の一部を加えて補助します。

表 2-5-1 令和6年度主な要件と事業実績

共通

補助対象者	・市内に自らが所有しかつ居住する住宅に対象設備を同時に設置した人
-------	----------------------------------

家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助事業（平成28年度から）

補助対象者	・FIT制度の認定を取得した人
補助対象設備	・太陽光発電：公称最大出力が2kW以上10kW未満であるもの ・蓄電設備：蓄電容量が1kWh以上、据置型であるもの
補助金の額	・太陽光発電：公称最大出力1kW当たり10千円（上限40千円） ・蓄電設備：蓄電容量1kWh当たり20千円（上限120千円） ・いずれも、設置費用の1/2以内
補助件数	・太陽光発電及び蓄電設備 49件
補助金額	・太陽光発電及び蓄電設備 7,656千円

ゼロカーボン設備導入事業費補助金（令和6年度から）

補助対象者	・FIT制度の認定を取得しない人（太陽光発電・蓄電設備のみ）
補助対象設備	・太陽光発電：公称最大出力が2kW以上10kW未満であるもの ・蓄電設備：蓄電容量が1kWh以上、据置型であるもの ・高効率給湯機器：従来の給湯機器から30%以上省CO2効果があるもの ・コージェネレーションシステム
補助金の額	・太陽光発電：公称最大出力1kW当たり20千円（上限80千円） ・蓄電設備：蓄電容量1kWh当たり35千円（上限210千円） ・高効率給湯機器（上限300千円） ・コージェネレーションシステム（上限800千円） ・いずれも、設置費用の1/2以内
補助件数	・太陽光発電及び蓄電設備 0件 ・高効率給湯機器 0件、コージェネレーションシステム 0件
補助金額	・太陽光発電及び蓄電設備 0千円 ・高効率給湯機器 0千円、コージェネレーションシステム 0千円

※高効率給湯機器及びコージェネレーションシステムは家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助事業との併用可

第6章 宇治市ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業費補助事業

令和4年度から、宇治市域における民生家庭部門からの温室効果ガスの排出削減を推進し、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及を促進することを目的とし、ZEHを導入した住宅を新築・購入する者に対し、費用の一部を補助する制度を実施しています。

表 2-6-1 令和6年度事業実績

補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に自らが所有し、かつ居住するため、前条に規定する補助対象住宅を導入する者であること ・市税を滞納していないこと ・申請を行う年度に国ZEH補助金の交付確定を受けた者であること。 ・宇治市暴力団排除条例（平成25年宇治市条例第43号）第2条第4号に規定する暴力団員等でないこと ・過去に本事業による補助を受けていないこと
補助対象住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・国ZEH補助金を受けることによって、平成27年12月に国（経済産業省）が策定したZEHロードマップにおける「ZEHの定義」を満たすことが証明できること ・申請しようとする者が所有し、かつ居住する住宅であること。
補助金の額	1件あたり 300千円
補助件数	2件
補助金額	600千円

第7章 親子で学ぶゼロカーボンツアー

宇治市域における2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、市内の小学5、6年生の親子を対象とした地球温暖化の原因やカーボンニュートラルについて学び、子どもたちが自ら考え、環境にやさしい行動ができるようになることを目的としたバスツアーを実施しています。

表 2-7-1 令和6年度事業実績

実施日	施設名	所在地	参加者数
7/22	あいとうエコプラザ菜の花館	滋賀県東近江市妹町70番地	25人
7/29	京エコロジーセンター	京都府京都市伏見区深草池ノ内町13番地	4人
8/1	さすてな京都	京都府京都市伏見区横大路八反田29番地	9人
8/7	大阪ガス科学館	大阪府高石市高砂3丁目1番地	12人

第8章 宇治市環境管理制度認証登録支援事業費補助事業

令和4年度から、宇治市域における事業活動による環境への負荷を低減し、地球温暖化の防止を図るため、KES・環境マネジメントシステム・スタンダードを導入し、認証等を受けた事業者には、費用の一部を補助する制度を実施しています。

表 2-8-1 令和6年度事業実績

補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市に事業所又は事務所を有する事業者（個人事業主含む）であること ・審査登録機関によるKESの認証を令和6年4月1日以降に取得した事業者 ・市税を滞納していないこと ・宇治市暴力団排除条例に規定する暴力団員等でないこと ・過去に本補助金の交付を受けていないこと
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・KES新規登録に際してのコンサルタント料 ・KES登録に際しての新規審査・登録料
補助金の額	補助対象経費の2分の1以内の額で50,600円を上限とする額 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント料 … 対象経費の2分の1（上限19,800円） ・新規審査・登録料 … 対象経費の2分の1（上限30,800円）
補助件数	補助実績なし
補助金額	

第9章 クールスポットの開設、クーリングシェルターの指定

夏季の熱中症予防対策として、公共施設や民間協力施設において、誰もが安全に涼しく過ごせる空間として、クールスポットを開設しました。また、熱中症特別警戒アラートが発表された際に、危険な暑さから避難するため開放する施設として、公共施設や民間協力施設をクーリングシェルターとして指定しました。

表 2-9-1 令和6年度開設数及び指定数

	公共施設 開設・指定数	民間施設 開設・指定数
クールスポット	25施設	2施設
クーリングシェルター	17施設	1施設

第 10 章 緑のカーテン推進事業

1 概要

緑のカーテンは、ゴーヤ等のつる性植物をカーテン状に設置することにより、夏の強い日差しを遮る他、植物の葉から水蒸気が発生する際に周囲の熱が奪われることにより室温の上昇を抑え、冷房の電力使用を削減することができます。宇治市では、平成 20 年度より、地球温暖化対策及びヒートアイランド対策の観点から、自ら率先して緑のカーテンに取り組むとともに、市民に対する普及啓発を行っています。

2 事業内容

市民の目に触れることの多い公共施設等における緑のカーテンの設置を支援し、普及啓発を行う他、市民が積極的に取り組めるように、栽培方法や効果などを学べる機会として、緑のカーテン講習会を開催しています。

(1) 令和 6 年度 取組施設数

◇ 公共施設：小学校 2 校、中学校 3 校、幼稚園 2 園、その他公共施設 6 箇所

(2) 令和 6 年度 講習会

◇ 参加者数：43 名（2 回開催）

(3) 令和 6 年度 実施状況（抜粋）



善法青少年センター



神明小学校

第 11 章 家庭用雨水タンク設置事業費補助事業

宇治市では、平成 27 年度から雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、家庭用雨水タンクを設置する方に対して設置費用の一部を補助する制度を実施しています。

表 2-11-1 令和 6 年度事業実績

補助対象者	<ul style="list-style-type: none">・市内に所有または占有する住宅の敷地内に雨水タンクを設置した方・市内に住所を有する方・市税の滞納がない方
補助要件	<ul style="list-style-type: none">・一般に市販されており、貯留容量が 80ℓ以上で密閉式のもの・新たに購入し、設置したもの・展示又は販売（住宅と一体的に販売する場合を含む）のように供するために設置したものではないこと
補助金の額	購入費用の 4 分の 3（千円未満切捨て） 上限 20 千円
補助件数	13 件
補助金額	219 千円

第 1 2 章 UJI ゼロカーボンチャレンジプラン

～宇治市地球温暖化対策実行計画（第 6 期計画）～

1 概要

宇治市役所では、一事業者、一消費者としての立場から環境への負荷の低減に率先して取り組むとともに、宇治市が行う事務及び事業から排出する二酸化炭素などの温室効果ガスを抑制するため、平成 13 年 2 月に「宇治市地球温暖化対策実行計画（第 1 期計画）」を策定し、その後、平成 30 年 3 月には第 5 期計画を策定し、環境にやさしい市役所を目指して取組を推進してきました。

近年、気候変動の影響の深刻化など私たちを取り巻く環境はさらに大きく変化しており、持続可能な脱炭素社会の実現に向け、社会を変えていく必要が生じています。

宇治市では、2021（令和 4）年 3 月に『市民と築くゼロカーボンのまち宣言～「安全・安心に住み続けられるまち」を目指して～』を宣言し、さらに 2024（令和 6）年 3 月に策定した「宇治市第 3 次環境保全計画」において、2030（令和 12）年度までに 2013（平成 25）年度比で 46%以上削減、及び 2050（令和 32）年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す削減目標を定めました。

こうした取組を進める中、国の「地球温暖化対策計画」及び「宇治市第 3 次環境保全計画」の内容を踏まえ、2024（令和 6）年 7 月に「UJI ゼロカーボンチャレンジプラン～宇治市地球温暖化対策実行計画（第 6 期計画）～」を策定し、脱炭素社会の実現に向け取組を推進しています。

2 主な内容

本プランでは、庁舎で職員が直接行う事務に加え、上・下水道事業や小・中学校の教育施設などで使用する電気などのエネルギー使用量を把握し、温室効果ガスの総排出量を算定しています。そして、その排出量を削減するための取組や削減目標を設定し、実施状況を公表することとしています。

第 5 期計画では、温室効果ガス排出量の算定に用いる係数を計画期間中固定としていましたが、排出量をより正確に算定するため、第 6 期計画からは、報告対象となる年度の係数を用いることとしました。これに伴い、2023（令和 5）年度以前の排出量についても、各年度の係数を用いて再算定を行っています。

今回の報告では、2025（令和 7）年 11 月現在、公表のある最新の事業者別排出係数が 2023（令和 5）年度実績であるため、2023（令和 5）年度の排出量を報告いたします。なお、2024（令和 6）年度についてはエネルギー消費量のみ報告いたします。

また、第 5 期計画では、エネルギー合理化の観点から、一般事務事業については総排出量の抑制、下水処理事業についてはエネルギー消費量あたりの排出量抑制というように別々の目標を設定していました。しかしながら、国は上下水道を含む事業全体で 2030（令和 12）年度までに温室効果ガスの総排出量を 46%以上削減するという目標を掲げていることから、第 6 期計画においては、一般事務事業と下水処理事業は、一体として目標を設定することとしました。

表 2-12-1 計画の概要

計画期間	2024（令和6）年度～2030（令和12）年度
対象とする範囲	指定管理等を含む、宇治市が実施する全ての事務・事業
対象とする温室効果ガス	二酸化炭素（CO ₂ ）、メタン（CH ₄ ）、一酸化二窒素（N ₂ O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六ふっ化硫黄（SF ₆ ）
削減目標	2030（令和12）年度における宇治市役所の事務事業等に伴う温室効果ガス排出量を2013（平成25）年度比で46%以上削減します。

3 宇治市の事務事業における温室効果ガスの排出状況

（1）温室効果ガス排出量の推移

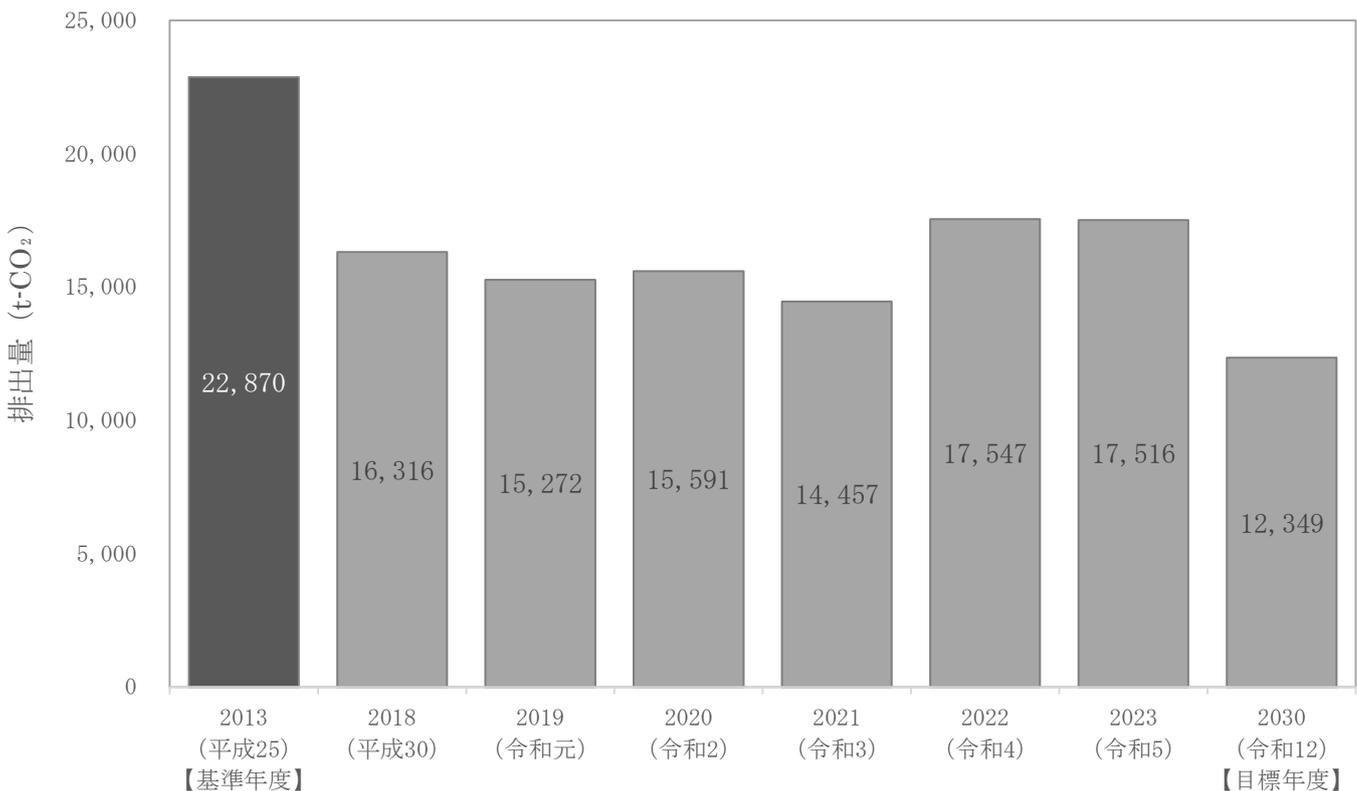
2018（平成30）年度以降の推移については概ね減少傾向でしたが、2022（令和4）年度は、電気の排出係数が増加したことなどに伴い、温室効果ガスの排出量が増加しています。

2023（令和5）年度の温室効果ガス排出量は17,516t-CO₂となり、前年度比では、0.2%減少となり、2013（平成25）年度比で23.4%減少となりました。

表 2-12-2 宇治市役所の事務事業における温室効果ガス総排出量（単位：t-CO₂）

	2013（平成25）	2022（令和4）	2023（令和5）	
	【基準年度】	【前年度】 〈基準年度比〉	排出量 〈基準年度比〉	前年度比
総排出量	22,870	17,547 〈▲23.3%〉	17,516 〈▲23.4%〉	▲0.2%

図 2-12-1 宇治市役所事務事業における温室効果ガスの推移



(2) 排出量の内訳について (t-CO₂ 換算)

温室効果ガスの施設・事業別の割合は、小学校が 16.7%、次いで、下水道処理事業が 12.4%、その他水道事業が 12.1%、宇治浄水場が 8.2%でした。

燃料別排出量については、電力が 74.7%、燃料 (灯油、A 重油、都市ガス、LPG など) が 21.9%、車両燃料が 3.4%でした。

図 2-12-2 施設・事業別排出量

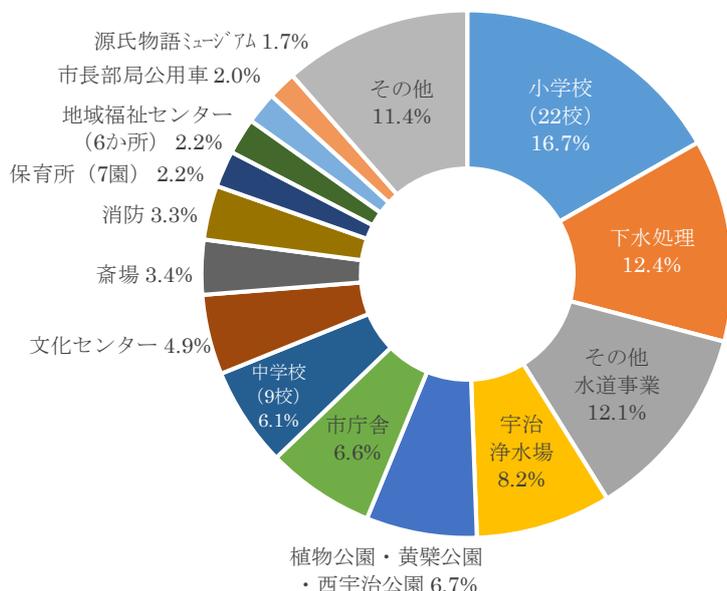


図 2-12-3 燃料別排出量

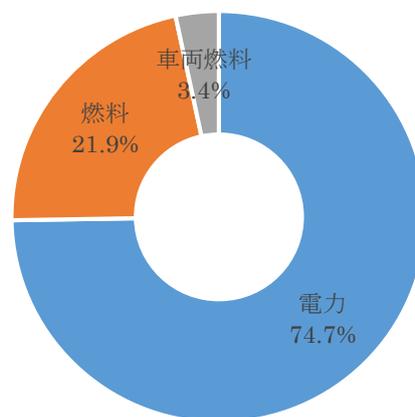


表 2-12-3 2023 (令和 5) 年度 施設事業別の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

施設・事業名	施設・事業別排出量			活動別内訳		
	2013 (平成 25) 基準年	2023 (令和 5) 年度	基準 年度比	電力 使用	燃料 使用	車両 使用
市庁舎	1,404	1,155	▲17.8%	860	295	0
市長部局公用車	404	341	▲15.5%	0	0	341
小学校 (22 校)	3,312	2,924	▲11.7%	1,469	1,455	0
中学校 (9 校)	1,092	1,066	▲2.4%	618	448	0
保育所 (7 園)	363	391	+7.7%	206	185	0
宇治浄水場	2,017	1,444	▲28.4%	1,443	1	0
その他水道事業	2,898	2,112	▲27.1%	2,068	27	18
植物公園・黄檗公園・西宇治公園	1,378	1,180	▲14.4%	1,068	109	3
斎場	466	588	+26.2%	170	418	0
文化センター	504	859	+70.6%	702	156	0
源氏物語ミュージアム	326	305	▲6.3%	305	0	0
地域福祉センター (6 か所)	520	388	▲25.3%	233	111	45
消防	664	582	▲12.4%	329	135	118
その他	5,144	2,003	▲61.1%	1,621	335	47
一般事務事業合計	20,492	15,339		11,093	3,675	572

※資料中の数値は、端数処理の関係で合計値等が整合しない場合があります。

施設・事業別排出量				活動別内訳		
施設・事業名	2013 (平成25) 基準年	2023 (令和5) 年度	基準 年度比	電力 使用	燃料 使用	車両 使用
下水処理（処理にかかるエネルギー使用量）	1,671	1,456	▲12.9%	1,454	2	0
下水処理（下水処理・汚泥焼却に伴う排出）	707	720	+1.8%	—	—	—
下水処理 合計	2,379	2,176	▲8.5%	1,454	2	0
排出量合計（一般事務事業＋下水処理）	22,870	17,516		12,547	3,677	572

※資料中の数値は、端数処理の関係で合計値等が整合しない場合があります。

4 宇治市の事務事業におけるエネルギー消費量の推移

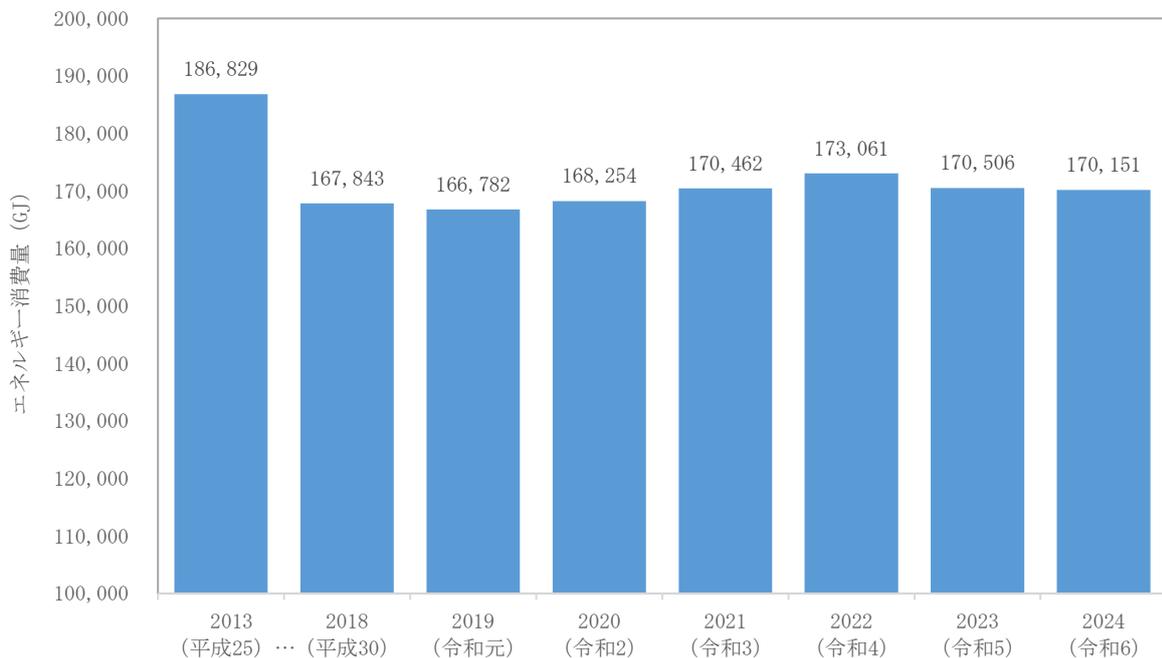
2024（令和6）年度のエネルギー消費量について、前年度比では0.2%減少し、基準年度比では8.9%減少しています。施設のLED化の実施等により電力使用量が減少したことが主な要因と考えられます。今後、気候変動の影響により、冷房負荷の増大が予想されるため、再生可能エネルギーの利用促進やエネルギー効率の向上の取組を進め、電力や燃料の使用抑制に努めていきます。

表 2-12-4 宇治市の事務事業のエネルギー消費量（単位：GJ）

	2013 (平成25) 【基準年度】	2023 (令和5) 【前年度】	2024 (令和6)	基準 年度比	前年度 比
エネルギー消費量	186,829	170,506	170,151	▲8.9%	▲0.2%

※GJ（ギガジュール）はエネルギーを表す単位

図 2-12-4 宇治市の事務事業のエネルギー消費量の推移



第 13 章 宇治市 ZEV 普及促進事業費補助事業

令和 6 年度から、ZEV（電気自動車、燃料電池自動車及びプラグインハイブリッド自動車）の普及を促進し、市域における自動車からの温室効果ガス排出量の削減及び持続可能な脱炭素社会を推進するため、ZEV、充電設備及びV2H充放電設備を導入する者に対し、費用の一部を補助する制度を実施しています。

表 2-13-1 令和 6 年度事業実績（ZEV）

補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民または市内の事業者であること ・ 補助対象車両の所有者であること ・ 市税を滞納していないこと ・ 宇治市暴力団排除条例（平成25年宇治市条例第43号）第 2 条第 4 号に規定する暴力団員等でないこと ・ 過去に本事業による補助を受けていないこと
補助対象機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内で販売される 4 輪車両のうち、電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車のいずれかであること ・ 「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」の交付決定を受けた車両であること ・ 中古車でないこと
補助金の額	1 件あたり 150 千円
補助件数	93 件
補助金額	13,950 千円

表 2-13-2 令和 6 年度事業実績（充電設備）

補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象設備を所有している市内の事業者 ・ 市税を滞納していないこと ・ 宇治市暴力団排除条例（平成25年宇治市条例第43号）第 2 条第 4 号に規定する暴力団員等でないこと ・ 過去に本事業による補助を受けていないこと
補助対象機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」の交付決定を受けた設備であること ・ 中古品でないこと ・ 申請者が所有している又は使用承諾を得ている土地・建物に設置しているもの ・ 市内に所在する事業所に導入するもの
補助金の額	急速充電設備：設備購入費（設備本体のみ）の合計額の 2 分の 1 以内で 200 千円を限度とする 普通充電設備：設備購入費（設備本体のみ）の合計額の 2 分の 1 以内で 100 千円を限度とする
補助件数	交付実績なし
補助金額	交付実績なし

表 2-13-3 令和 6 年度事業実績 (V2H 充放電設備)

補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象設備を所有している市民 ・ 市税を滞納していないこと ・ 宇治市暴力団排除条例（平成25年宇治市条例第43号）第 2 条第 4 号に規定する暴力団員等でないこと ・ 過去に本事業による補助を受けていないこと
補助対象機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」の交付決定を受けた設備であること ・ 中古品でないこと ・ 申請者が所有している又は使用承諾を得ている土地・建物に設置しているもの ・ 市内に所在する戸建住宅に導入するもの
補助金の額	設備購入費（設備本体のみ）の合計額の 2 分の 1 以内で 50 千円を限度とする
補助件数	交付実績なし
補助金額	交付実績なし

第 14 章 ゼロカーボンセミナー

脱炭素社会の実現に向け、脱炭素について考え自ら行動する人材の育成を図るとともに、意識や行動の変容を促すため、あらゆる世代の市民、事業者、環境団体、職員等が学ぶ機会を提供するゼロカーボンセミナーを実施しています。

表 2-14-1 令和 6 年度事業実績

対象	内容	参加者数
地球温暖化対策地域協議会	太陽光発電の現状と効果的な啓発方法	約 30 人
職員（集合・オンライン）	地球温暖化の最新事情 他	約 250 人
職員（課長・副課長）	脱炭素の推進	約 80 人
事業者	地球沸騰化時代のビジネスへ 他	約 20 人
事業者（出前講座）	地球温暖化の現状及び脱炭素の取組 他	約 15 人